



河内中学校 2022. 1月



一年で一番寒い時期がやってきました。二十日は「大寒」健康管理に注意をはらい乗り切ってください。寒い寒い冬は、実は読書のシーズン。部屋でじっとしている時間の多い今こそ、本を読みましょう！！

第66回学校図書館調査 (毎日新聞 学校図書館協議会 実施)

全国の小中高生を対象に行われた(任意校抽出)調査からは、「新型コロナウイルス感染対策で児童生徒へのタブレット端末配布が進んだ結果、デジタル資料や電子書籍に親しむ子どもが増え、ステイホーム奨励で読書の時間も増えた。」こんな傾向が浮かび上がった。(毎日新聞 2021, 10, 27 版より)



「第66回学校図書館調査」によると、本を選ぶ基準は、小中高校生ともに「本の題名」「表紙」が1、2位を占めた。「題名」は小中高校生でそれぞれで5～6割台、「表紙」は4～5割台に上り、まずは見た目で見ている児童、生徒が多いようだ。

一方「友だちのすすめ」は小学生26%、中学生23%、高校生21% 「家族のすすめ」は同12% 同7%、同5%、「先生のすすめ」は同4%、同1% 同2%、となっている。

(毎日新聞 2021, 10, 27 版より抜粋)



第一章 本を読むことで得られるもの ～ネットと本は役割が違う～

本とインターネットは、しばしば対比して語られます。それぞれに長所と短所があるので、比べた上で「こういうときはネットのほうがいい」「これについては本で調べよう」というふうによく使い分けをすればいいと思います。どちらかの熱狂的な支持者たちがやっけてしまいがちな「本 VS ネット」のような論戦は無意味です。

本もネットも、両方とも活用しましょう。それができるのは、今を生きる私たちの大きなメリットでもあります。

(本書 55 頁より抜粋)

こんな本を読んでみよう！

読書た
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

泣いたあとは、新しい靴をはこう。

日本ペンクラブ 編

ポプラ社刊



分類：15 ニ

困難な状況にあっても、新たな一歩を踏み出し、旅を続ける勇氣。それはきっと、角度を変えてものごとを見直すところから始まるのでしょう。そしてそのきっかけは、君がこれまでイメージしたことがなかった他者からの言葉にあるのだと思います。(中略)でも君はたぶん、世界が一変されるような言葉にこの本のなかで出会うはず。それは、地平線の向こうまで歩いていくための、君の新しい靴なのです。さあ、泣いたあとは新しい靴をはこう。新たな風景に出会う君の旅は、今日これからも続きます。

(本書 まえがきにかえて より抜粋)

この空のかなた

須藤 靖 著

亜紀書房刊



分類：44 ス

著者は宇宙物理学が専門の大学教授です。地元の高知県の地方紙に書いた「この空のかなた 138億年の旅」という連載をまとめ一冊の本にしました。天体や宇宙空間の写真に付けられた解説をよむと、何気なく見上げていた夜空が違う輝きを見せてくれます。息をのむほど美しい宇宙の画像は、一見の価値があります。澄んだ冬の夜空には、神秘的なドラマが潜んでいることに気づかせてくれる本です。

100万回死んだねこ

福井県立図書館 編

講談社刊



分類：01 ク

この本のタイトル、なんか変だと気付きましたか？「100万回 生きたねこ」が正解ですよ。実はこの本、言い間違えられた書名ばかりを集めた「覚え違いタイトル集」なんです。福井県立図書館の司書さんたちが、利用者から尋ねられたチョットおかしい「書名」ばかりを集めたとっても面白い！本です。「最近、笑ってないなあ」と思ったらぜひこの本を読んで、心ゆくまで大笑いしてください。笑う門には福来る！！

注文をまちがえる料理店

小国 士朗 著

あさ出版刊



分類：49 オ

もし食事にレストランへ行き、「ハンバーグ！」と注文したにもかかわらず「餃子」がでてきたら…。「まあいいか」と受け流す、「作り直してもらおう〜ん、「そっだ本当は餃子が食べたかったんだ」と気が付く。いろいろな反応があるとは思いますが、この本は初期の認知症の方々が働くレストランの様子を紹介しています。いつも笑いが絶えなくて、水のコップが一人に三つあっても、だれも文句を言わない。温かい気持ちになりますよ。

雪の結晶 小さな神秘の世界

ケン・リブレクト 著

矢野 真千子 訳

河出書房新社刊



分類：45 リ

日本各地で例年にない大雪の情報が、ニュースから流れてきます。この本は「雪の結晶」の写真集。自然の造形的美しさ、二つと同じものがない複雑な形状の「雪の結晶」の美しさを味わってください。自然が紡ぎ出す「奇跡」がこの本には閉じ込められています。

*「図書館だより」はカラー版がクロームの【クラスルーム】にも入っています。